

ホームモニタリングって何？

ホームモニタリングとは、自宅にペースメーカーの情報を受信する受信機を設置し、ペースメーカーの不具合や危険な不整脈が出てないかを毎日モニターすることを行います。医師はペースメーカーチェックの時に得られる情報の一部を 病院にしながらパソコン上で見ることができます。具体的には ペースメーカーの作動に問題があったり危険な不整脈が多くなっている場合に、翌日には医師に連絡が入ります（土日を含め場合には数日かかります）ので、必要があればご本人に電話連絡を入れることができます。

また 問題のない場合でも

月 1 回データを確認しています。

（現在 100 名弱の方が使用中）

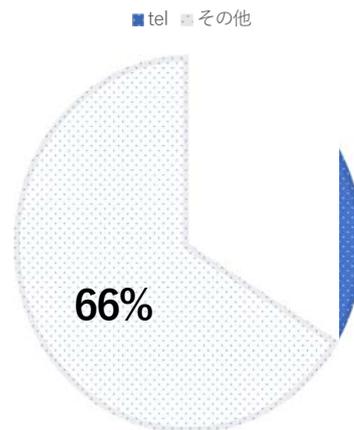
ここ 5 年間で新規ペースメーカー

植え込みをした方のうち、34%の

かたがホームモニタリングを利用

しています。特にご高齢の方や足が不自由で ペースメーカーチェックに来れない方などに有用です。

ここ5年で植え込みした方のうち
ホームモニタリングを利用している方



全国的にも 利用する患者様がふえており、日本循環器学会でもすべてのペースメーカー植え込み患者さんにホームモニタリングを行うことを推奨しています。一方、それができるペースメーカーとできないペースメーカーがありますので 相談してください。患者様のメリットとしては 毎日見てもらっている安心感がありますし、何もなければ年2回の受診を1回に減らすことができます(一部の方は2回のみです)。



よくある質問

Q1 旅行に行ったり、入院したらどうなるの

受信機は自宅の寝室に設置しますので、家にいないときは受信できません。でも、帰ってきたらまとめてデータを送信しますので心配ありません。1 カ月以上不在になるときには、電源を切って病院に連絡してください。

Q2 電池の消耗がはやくなりませんか

モニタリングに使用する電池の消費量は少ないため 寿命は1カ月も変わらないといわれています。

Q3 機器の値段は

受信機はメーカー負担ですので費用はかかりません。ただ、遠隔管理料として1割負担で月320円病院に払うこととなります。(病院に来た時まとめてお支払いいただきます)